

～0歳から100歳のしあわせ～

夢みらい

2024

新年号

第87号 Winter
令和6年1月1日発行

「淳風会」の「淳」とは「情けに篤く、素直で、飾り気のない」という意味を持ち、私たちの法人理念に繋がります。

優しく温かな想いをもって「地域に愛され、地域に支えられ、地域に根差した」社会福祉事業を展開します。



2023年 デイサービスセンターさくら「2023年秋の大運動会の様子」

目次 Contents

- 2P 理事長 新年のあいさつ
理事長 コラム
- 3P 子育て支援事業各施設の活動報告
- 4P アフタースクール KIDS なみよけ
- 5P 高齢者支援事業の活動報告
- 6P 食育の取り組み
研修報告
一步善進
- 7P 心に残る話
ご意見 Q&A
掲示板 編集後記
- 8P 法人案内
施設案内



2023年 西保育園「お正月遊び(コマ回し)」

社会福祉法人 淳風会の日常はこちらからご覧ください！

○ ホームページ
<https://junpu-kai.or.jp>



○ 求人・採用ページ



○ Face book



○ インスタグラム



社会福祉法人 淳風会

子育て支援事業部・高齢者支援事業部 淳風なみよけ

〒552-0001
大阪市港区波除5丁目4番7号
TEL (06)6585-3391(代)

令和6年、新年のご挨拶

新年のご挨拶を申し上げます。皆様、新年明けましておめでとうございます。恐縮ですが本年のご挨拶は、どうしても避けられない暗いお話から始めることをお許しください。ロシアによるウクライナへの侵略戦争が終わらぬうちに、また新たな戦いが起こってしまい、平和な日常が当たり前ではない世界の現実を突きつけられた昨年でした。テレビでは連日ウクライナの破壊された街の映像が流れ、11月からはパレスチナのガザ地区における無残な光景を目にする日々となっていました。そんな日常に慣れてはいけなそうと思いつつ、遠い国の出来事で歴史的な背景も複雑なパレスチナとイスラエルの現実に戸惑う日々が続きます。阪神とオリックスの優勝パレードに沸く大阪と神戸の街を見て平和な日本の有難さを感じつつ、喉に小骨の刺さった感触を覚えるのは僕だけではないでしょう。ユニセフや赤十字を通じた戦地の子供たちへの支援のほか、為すすべもない無力感に苛まれて今年1年を過ごすことになるのでしょうか。

社会福祉法人 淳風会
理事長 西村 良廣

コラム

「偉人伝」

淳風会 理事長 西村 良廣

小学生の頃「日本の偉人百人」・「宇宙と星」という本が愛読書だった。環状線になる前の国鉄に乗り、福島から大阪駅で乗り換えて天王寺まで通っていたから電車の中で読む本が必要だった。おかげで勉強しなくても国語と歴史だけは得意だった気がする。で、最近になって孫にも読ませようと思い「101人の伝記」を買った。当然ながら読んでみた。小学生用だから直ぐ読めて、しかも感動的な内容。子供用だからとにかく素直でわかりやすい。そしてあらためて何も知らない自分に気づく。65年以上前に読んだ本にも関わらず、今も新鮮な感覚とともに記憶に残っている偉人は野口英世・北里柴三郎・牧野富太郎・大隈重信・福沢諭吉・源頼朝・義経・木曾義仲・平清盛・知盛などなど記憶を辿りだすとキリがない。記された内容は覚えていないがワクワクしながら何度も読み返した記憶がある。そういえば女性では清少納言や紫式部の名もあった。近代の偉人は顔写真それ以前の偉人は挿絵だ。

もちろん「世界の偉人百人」という本もあり楽しんでた。キュリー夫人やエジソン、ベンジャミン・フランクリン（通電しやすい絹糸でタコを揚げ、雷の正体が電気であることを証明）。なかでもレオナルド・ダビンチには後日談がある。パリに住んでいた時、比較的近くにある北部イタリアのミラノを訪れた。ダビンチ博物館に行きたかったのだ。そこで様々なものを見たが、多くは図鑑に紹介されている絵画・彫刻と飛行機的设计図等の文書だった気がする。しかし天才の天才たる所以（ゆえん）を思い知らされて今も強く印象に残っている日記を見てしまった。イタリア語でもフランス語でもない不思議な文字の羅列。見たこともないがヒョットしてこれがラテン語か？近くにいた学者の様な風情のおじさんに「これはどこの言葉か」と尋ねた。答えに驚愕。当時は羽ペンとインクで文字を書く。左利きだったダビンチが左から右に手を動かして文章をつづれば手にインクが付き文字も文章も使い物にならないほど汚れてしまう。当時、左利きのひとは苦勞してペンを右手にもつ。そこで天才ダビンチは考えた。左手で右から左に文章を書くために文字をすべて裏返したのだ。そう説明されても凡才の僕の頭は混乱するばかり。そのとき学者風のおじさんが手招きをしていた。そこにはダビンチの文章の上に45度に傾けた鏡が置かれていた。そこに普通の人々が普通に読めるイタリア語が立ち現れる。「えっ」と大声を出した僕の肩を抱いて、おじさんは満足げな笑みを浮かべた。ミラノまで行って覚えているのはそれだけだが、僕にはそれで十分だった。55年経った今でもその時の光景「文書と鏡とおじさんの笑み」が目に残っている。そんなこんなで子供の時の記憶を辿ると、現在はほぼ消えてしまった様々な風習が思い出された。正月の三が日を過ぎると「初荷」と大書されたトラックが街を走り出す。目出度い図柄の幔幕をたなびかせて荷台には鉢巻をしめた男たちが乗っていた。玄関先に門松を飾り、或いは玄関の上の横柱や車の前には「しめ縄飾り」をつけていた。トラックといえば、結婚の嫁入り道具を満載した荷台に紅白の幔幕を派手に飾り立てたトラックが市内を走り来していた。テレビや電話が普及する以前は「目に見える、音に聞こえる」つまり五感に訴えるしか伝達の方法が無かった時代でもあった。いま振り返れば不便とも面倒とも感じることも様々に確かな手触りがあつた。と懐かしむのは老化の証し、か。

《子育て支援事業各施設の活動報告》

認定こども園 波除学園「みかん狩り」



11月に園外保育でみかん狩りに行ってきました。クラスの友だち全員とバスに乗り遠出をする新鮮さに、目をキラキラさせて楽しむ様子が見られました。

みかん狩りではたくさんのみかんの木に驚き、自分の手でみかんをとり、そのまま剥いて食べる初めての体験にとっても嬉しそうな子ども達。「美味しい」と言いながら夢中で次々とみかんを食べていました。

その後もおにぎりやおやつを食べたり、虫取りやどんぐり拾いなどの自然の中を散策したりと心もおなかもいっぱいになった初めての園外保育となりました。

〈認定こども園 波除学園 4歳児青組担任 木梨 天香〉

田中保育所「菜園～さつまいも～」

苗から育てたさつまいも。いよいよ収穫の時…子どもも大人もわくわくしながらおいも掘りをしました。大きなおいも、小さなおいも、そして沢山の幼虫たち(笑) 合間ではおいものツルで綱引きを始めた、葉っぱを傘にしてみたり…みんなの笑顔がキラキラでした。ほとんどのおいものに黒ずみや傷がありましたが、それぞれ選びアルミに包み、名前を書いてスチームにかけてもらいました!!できあがったおいもの中は…あら♡きれい!味はどう



でしょう…あまーい!さすがシルクスイート。一口食べては「おいしいー!」と踊り出す子ども達でした。掘ってはキラキラ。食べてもキラキラ。秋を感じる楽しい経験と思い出になりました。

〈田中保育所 5歳児ぶどう組 毛利 昌美〉

つどいの広場 ぴよぴよアイランド 「制作あそび 十五夜うさぎを作ろう」

今月の制作は親子で足形アートを作りました♪自らすすんで足形を取ってくれるお子さんや、足形を取ることを嫌がるお子さん…色んなお子さんがいましたが皆さん無事に足形を取ることができました。

お月さまとススキを印刷した台紙にお顔を描いた足形を貼り、折り紙で作った耳を付けて、かわいいうさぎが出来上がりましたよ!

名前・月齢、日付を記入し、お子さまの写真を一緒に挟んでラミネートしました。皆さんオリジナルの作品が出来て、喜ばれていました!

今後も皆さんに喜ばれる制作あそびを実施していきたいと思います。

〈つどいの広場 ぴよぴよアイランド 道田 みゆき〉



安治川保育園「人形劇鑑賞会」



4年ぶりに2歳児クラス～5歳児クラスを対象に人形劇の鑑賞会がありました。今年は、「人形劇ファミリーひみちたい」の方が来て下さいました。「にじ」の曲に合わせての手話から始まり、続いては、「不思議ハウス」の仕掛け話。そして最後は、人形劇で『おしょうさんとたぬき』の物語を見せてもらいました!



子どもたちは、初めから最後まで物語に夢中で、時には手を叩いて大笑いしたり、「めっちゃ面白い!」と思わず関西弁が出るほど楽しんで見ていましたよ!!

お土産に、不思議ハウスの仕掛けカードをプレゼントしてもらい大喜びでした♪

〈安治川保育園 2歳児さくら組担任 野瀬田 理恵〉

西保育園「イオンモールへの避難訓練」

イオンモールにご協力いただき、全クラスで地震と津波の避難訓練を行いました。園内で通常の避難訓練を行った後、イオンモールの屋上まで移動しました。実際の災害時は、店内には入らず車両用スロープで屋上に上がるのですが、訓練時は0歳～2歳児クラスはエレベーターを使い、3歳～5歳児クラスは着替えと水が入ったリュックサックを背負って6階までの階段を登ります。屋上ではイオンの担当者より、頑張って避難できたことを沢山ほめてもらいました。



避難訓練を行う毎に、職員はもちろん、子ども達の意識も高まっており、今回は園外への避難という緊張感も体験することができました。災害が起こらないことを祈りつつ、今後も様々な想定での訓練を重ねていきたいと思えます。〈西保育園 2歳児あひる組主任 中野 志乃〉

藤白台育成室「カップ麺イベント」

運動会の代休日のため一日保育となったともだち学級～昼食タイムをイベントにしました。保護者負担の軽減も兼ね、カップ麺を持参してもよいことにしたのです。そして、せっかくならそのカップ麺を美味しくいただけるよう、各へやを子どもたちとお店のような雰囲気になりました。

釣りをしながら食事が楽しめるラーメン店やフードコート風のお店、なかには指導員が中華風に変装したお店まで登場しました。初めての試みでしたが、楽しそうにカップ麺を頬張る子どもたちの笑顔が印象的でした。



〈藤白台育成室 主任 杉村 隆〉

アフタースクール KIDS なみよけ

アフタースクール KIDS は、『大阪市留守家庭児童対策事業』の一環として行われ、子どもにとって放課後の居場所となるように開設されています。

主に学校が終わった後の放課後や夏休みなどの長期休暇がメインとなります。平日過ごせる時間は、学年によってバラバラで、習い事のあるお友達は更に短くなるので、少しの時間でも安心して過ごせるように日々の活動を行っています。

今回はそんな中、なみよけで過ごす活動の一部を紹介します。

【放課後】



ただいまー！



おんどくちゅう



おやつタイム

帰ってきたら宿題におやつ、それが終われば遊びの時間。その日学校で過ごした内容によって、気分ややりたい事が変わり、毎日なにをやるか悩みながらも楽しい事を探しています。

【行事】

季節ごとに行事も行っています。夏はかわぐちなみよけ合同で遠足とキャンプに行きました。



フール遠足（スパワールド）



キャンプ



2023年8月23日～24日 アフタースクール KIDS KIDSキャンプ 大阪府立少年自然の家

〈高齡者支援事業の活動報告〉

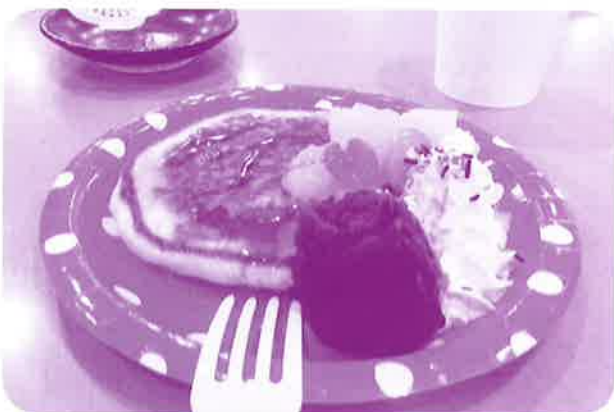
「ケアハウスの行事を続々と再開しています」

ケアハウスでは、コロナ禍の中で制限していた行事を順次再開しております。新型コロナウイルス感染症のフェーズが第5類に移行して以降も、感染のまん延防止を配慮し控えていた行事も多々ありましたが、地域の感染状況や館内のご入居者のご様子を鑑み、皆様楽しんで頂ける行事を企画し実施しております。

10月には「ハロウィンパーティー」と称して、パンケーキ作りを行いました。ホットプレートに生地を載せ、フライ返しを片手にジッと焼きあがる様子を見つめながら、ケーキをひっくり返す瞬間を逃さない、皆様の真剣な眼差しが印象的でした。焼きあがったケーキには各々で生クリームやアンコ、フルーツを盛り付け、い〜っぱいのハチミツをかけて召し上がっておられました。「また、やりたいのでお願いします！」のお声をたくさん頂き、続く11月にはプリン大会の開催となりました。時間の都合で既製品のプリンとなりましたが、パンケーキで生クリームが好評でしたので、生クリームやさくらんぼ、チョコレートのトッピングなどをして頂き、こちらも大変喜ばれていました。

皆様でテーブルを囲んで何かを作ったり、笑顔で楽しんでいる。以前は当たり前のように行っていた行事が、制限された時期を越え、当たり前で普通のこと、とても幸せなことだと感じたひと時でした。

〈ケアハウスなみよけ 施設長 中島 健浩〉



デイサービスさくら「秋の大運動会を開催しました！」

デイサービスセンターさくらでは、去る10月11・12日に「秋の大運動会」を開催しました。紅白にチーム分けし、それぞれのハチマキを巻いて気合十分！ご利用者代表による選手宣誓を皮切りに、玉入れなどの競技を楽しみました。ご利用者の中には時間制限が終了してもボールを放さず、カゴに向かって投げる姿も……。勢い余ってスタッフが止めに入る場面も見られ、大いに盛り上がっていました。また、スタッフによる二人三脚走も行われ、各チームを代表して走るスタッフの姿に（表紙写真をご覧ください！）大きな歓声が上がっていました。

日本で初めて「運動会」という言葉が登場したのは今から141年前だそうで、今の東京大学から始まったと

のこと。その後、全国の学校で行うように当時の文部大臣が進めたことにより全国各地で開催されるようになったようです。今や学校だけでなく地域や職場でも行われるように広まってきました。子供のころから慣れ親しんできた運動会。ハチマキを巻いてワクワクした気持ちになるのは、ご利用者の皆様も同じなようで、自然と笑顔が溢れる良い行事となりました。

〈デイサービスセンターさくら 生活相談員 大向 奈緒美〉



食育の取り組み

伝われ！食育連鎖

安治川保育園「きのこ割き体験」

9月にきのこ割き体験を行いました。給食できのこが出てくると苦手と感じて食べない子や苦手ながらも一口でも挑戦する子、…。そんな中全員が沢山のきのこを見た瞬間「うわあ！」「きのこ〜！」と声が飛び交いました。いざきのこ割きを体験するとそーっと匂いを嗅いでみたり夢中になって細かく割いていく姿や割き終わったボウルに手を入れて喜ぶ姿、きのこをじーっと見つめて触ってみる姿等沢山見られましたよ。

給食時、割いたきのこが出てきて喜んで食べる子ども達。苦手な子も自ら割いたきのこだと嬉しそうに食べていました。

この体験で子どもたちが少しでも食に興味を持つことができたかなと感じます。



〈安治川保育園 1歳児ひまわり組担任 澤田 愛月〉

研修報告

施設内や施設外で日夜、切磋琢磨してスキルアップに励んでいます。

「自由研修」

今回「ストレス」をテーマにした自由研修を行いました。

ストレスを風船に例え、ストレス（ストレスの原因となるもの）によって押さえつけられると、ストレス反応（疲れた・辛いと感じる感情）として歪みが生じ、押さえつけるストレスの力が強すぎると、限界を迎え破裂してしまいます。

ストレスの限界を迎えると、気持ちが不安定になったり、食欲が無くなったり、夜眠り辛くなったり…など、ストレスサインが現れてきます。

そこで、手軽にできるストレス発散方法をご紹介します。

○こまめにストレッチをする。○甘いものを食べる。○太陽の下で身体を動かす。○趣味に没頭して日常を忘れる。○親しい人とたくさん話してたくさん笑う。

ストレスは心や体、行動に様々な影響を及ぼす為、溜め込みすぎるのは禁物です。

自分に合った方法を見つけて、ストレス発散する事を心掛けましょう。

私個人としては、「1日に一つチョコを食べる」「気の合う仲間とお酒を飲みながらの団欒」「推し活」で、ストレス発散しています。

〈西保育園 4歳児りす組主任 江村 佳代〉



「BCP(事業継続計画) 策定研修に参加しました」

12月7日(木)、港区社会福祉施設連絡会が主催する「BCP策定研修」に参加しました。BCPとは災害や感染症の発生により施設が被災し、電気・ガス・水道・通信等に支障が出たり、交通機関の停止などにより職員不足になった時にも、通常業務を継続して行くための手段と、災害時の利用者と職員の安全を確保するための応急対応業務を、事前に決めておく計画です。講師には一般社団法人ADI災害研究所の伊永先生がお越しになり、先生からは、ご利用者やスタッフの安否確認を始め、非常時の優先業務などを選択し、通常業務に戻るための手順などを定めることなどが大切であると学びました。日頃から行う予防計画とは異なり、有事の事態が生じた際に対する段階的な継続計画を当施設としても策定し、災害や感染症への備えを見直すよう取り組んで参ります。

〈ケアハウスなみよけ 生活相談員 多田 修司〉

一・歩・善・進

淳風会ではご利用者の方々がより良い環境の中で生活できるように日々取り組んでいます。

藤白台育成室

「新校舎に移転しました！」

これまで使用してきた育成室校舎が令和5年4月より小学校の教室として使用されることとなり、新築の校舎へ移転いたしました。小学校の敷地内なので利便性もよく、24時間空調、自動水栓、多目的トイレなどの設備も整った快適な空間となっています。10月からは機械警備も導入され、安全性も一段と向上しました。

〈藤白台育成室 主任 杉村 隆〉

ケアハウスなみよけ

「入浴時間表を見やすくしました」

ケアハウスご入居者の日々の入浴時間を示している「入浴時間表」を見やすくしました。文字が小さい、分りにくいといった要望があり、ご入居者の意見を直接聞きながら作成しました。具体的には男性の時間や女性の時間を分かりやすく表記してみました。今後も、どんな小さな要望でも聞き取り対応できるように善処していきます。

〈ケアハウスなみよけ 寮母 島田 真理子〉

心に残る話 「待ってた待ってた運動会」

波除学園で4人の子どもがお世話になっています。毎日先生方がきめ細かく保育をしてくださり、安心して預けることができます。

先日、運動会がありました。年長の長女と年中の長男が、運動会の練習が始まった頃から、こんなことしたよ、あんなことしたよ、と楽しそうに毎日話してくれていました。そして、待ってた待ってた運動会!と、それぞれのパートを歌いながら、当日を心待ちにしていました。

年長の長女は、逆上がりが難しいと話し、アドバイスしながら、練習を繰り返していました。タオルを使ってみたり、つまさきの位置をかえてみたり... 必死に何回も挑戦する姿に胸を打たれました。ある日、保育園から帰ってくると、娘か嬉しそうに、「パパ、逆上がりできるようになったよ!」と教えてくれました。そして、本番。祈る気持ちでカメラのレンズ越しに見ていました。堂々と逆上がりをやり遂げ、感動しました。そのとき、入園してまもなくの初めての運動会を思い出しました。プーさんの衣装を着て、泣きながら妻に手を取られ、進んでいた娘。親バカですが、大きく成長したなと思います。

運動会では、他にもマーチング、パラバルーンやリレー、開会式、閉会式など、様々な経験をさせていただきました。友だちと取り組む楽しさ、やり遂げた後の達成感を味わうことができ、娘も息子もたくさんの思い出ができたように思います。

次女や次男も、姉や兄の姿を映像で見て、真似していました。子どもたちが真剣なまなざしで取り組む運動会、来年も楽しみにしています。運動会の開催、指導をしていただいた先生方、本当にありがとうございました。

〈認定こども園 波除学園 黄組 史実 青組 史弥 桃組 史佳 赤組 史和の父 大澤 昌史〉



ご意見Q&A

淳風会では第三者委員会を設置し、施設をご利用の方々や園児がより良い環境の中で生活できるよう問題解決に取り組んでいます。今後も皆様からのご意見を参考に、改善に向け前向きに努力して行きたいと思っております。

Q 保育所で栽培している、トマト・ぶどうについて・・・

所庭で野菜や果物を育てる事は、子どもたちにとってこれからも続けていただけたらと思います。ただ、ミニトマトの栽培は過去の保育園児の死亡例があったり、消費者庁のHPと、内閣府「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のガイドライン」にも窒息リスクがある、と記載されています。ぶどうは、上の方に実がなっており粒も小さいので園児の手の届かないようにしたり見守りで大丈夫かと思いますがミニトマトは危険に思います。 〈保護者の方より〉

A ミニトマトではなく、大きいサイズのトマトでした。保育所でも十分に見守りをしながら、子ども達と栽培を楽しんでいましたが、実の生育過程でミニトマト程のサイズになる期間があることに考えが及ばず、危険認識が不足していたことを反省し、今後はトマトの栽培はやめる事にします。他の野菜や果物で栽培を楽しみたいと思います。 〈田中保育所 主任 伊集院 奈穂子〉

掲示板

【認定こども園波除学園】

園庭開放
1/11 (木) たこあげ制作
1/25 (木) 絵本の会
2/2 (金) 節分制作
2/未定 新聞あそび
3/1 (金) ひなまつり

【田中保育所】

所庭開放
1/16 (火) 制作あそび
2/20 (火) お楽しみ会

【西保育園】

園庭開放
1/16 (火) お正月あそび

【安治川保育園】

園庭開放 事前予約が必要です。
1/11 (木) たこあげ遊び
1/22 (月) 園庭遊び
2/1 (木) 園庭遊び
2/26 (月) 親子制作
3/4 (月) 園庭遊び

編集後記

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。寒い日々がまだまだ続きます。体調には十分ご自愛下さい。

今年は「辰年」。辰とは動物に当てはめると「竜(龍)」なのだそうですが、干支の中で唯一、実際に存在しない想像上の生き物だそうです。古来より竜は神格化され、守り神のように祭られていることも。今年も皆様にとって竜のように飛躍できる年となるようご祈念申し上げます。

〈編集長 中島 健浩〉

法人案内

社会福祉法人 淳風会

淳風会法人本部
〒531-0075 大阪市北区大淀南2-5-20
Tel. 06-6450-1121

高齢者支援事業部

グリーンヒル淳風	ケアハウス デイサービス 訪問介護 居宅介護支援 地域包括支援センター	〒527-0842 寝屋川市太秦高塚町9-1 Tel. 072-820-0085
淳風とよなか	特別養護老人ホーム 地域密着型特別養護老人ホーム ショートステイ デイサービス 訪問介護 居宅介護支援 地域包括支援センター 福祉用具販売	〒561-0825 豊中市二葉町2-4-5 Tel. 06-6335-0785
淳風おおさか	特別養護老人ホーム ショートステイ デイサービス 居宅介護支援 総合相談窓口	〒531-0075 大阪市北区大淀南2-5-20 Tel. 06-6450-1088
淳風なみよけ	ケアハウス デイサービス 訪問介護 居宅介護支援 総合相談窓口	〒552-0001 大阪市港区波除5-4-7 Tel. 06-6585-3391 施設案内参照

子育て支援事業部

- 保育事業 地域子育て支援拠点事業 病児保育事業 放課後児童クラブ 吹田市留守家庭児童育成室

施設案内

淳風なみよけ&
子育て支援事業

ACCESS MAP



① 淳風なみよけ ※介護に関するどんな小さな不安や疑問でもかまいません。お気軽にご相談ください。

- 軽費老人ホーム ケアハウスなみよけ (5階~9階) ● デイサービスセンターさくら
TEL.06.6585-3393 TEL.06.6585-3394
- ホームヘルプセンターさくら ● 居宅介護支援事業所さくら・市岡東地域総合相談窓口
TEL.06.6585-1138 TEL.06.6585-3395

子育て支援事業

◆保育事業		
① 認定こども園 波除学園 〒552-0001 大阪市港区波除5丁目4番7号 TEL.06.6585-3392	③ 安治川保育園 〒552-0001 大阪市港区波除1丁目6番6号 TEL.06.6582-7883	⑤ 大阪市立 田中保育所 〒552-0005 大阪市港区田中1丁目11番1号 TEL.06.6574-2369
② 波除学園分園 なみびよ 〒550-0021 大阪市西区川口3丁目10番9号 TEL.06.6581-1800	④ 安治川保育園分園 あじびよ 〒550-0024 大阪市西区境川2丁目5番27号 TEL.06.6585-2428	⑥ 西保育園 〒550-0023 大阪市西区千代崎2丁目21番18号 TEL.06.6581-4009
◆地域子育て支援拠点事業		
⑦ つどいの広場 ぴよぴよアイランド 〒550-0006 大阪市西区江之子島1丁目5番8号2F TEL.06.6147-6701	◆放課後児童クラブ	
⑧ 病児保育室 ぴ〜よんルーム 〒552-0011 大阪市港区南市岡1丁目7番1号 TEL.06.6575-9774	⑨ アフタースクール KIDSなみよけ 〒552-0001 大阪市港区波除4丁目4番18号 TEL.06.6583-5230	◆吹田市留守家庭児童育成室
	⑩ アフタースクール KIDSかわぐち 〒550-0021 大阪市西区川口3丁目1番23号 TEL.06.6599-9070	⑪ 吹田市藤白台育成室 〒565-0873 吹田市藤白台3丁目3番1号 TEL.06.6833-1051

※子育てに関する相談やお聞きになりたいことがありましたら、お気軽にお電話ください。